

平成 28 年第 5 回市議会定例会 一般質問通告（要旨）

平成 28 年 12 月 15 日（木）

1 大井 俊彦 議員

1	件名 新市建設計画について	
	(1)	新市建設計画における主要事業の進捗状況は
	(2)	現時点において計画を進めるうえでの課題や問題点は
	(3)	計画実現に向けての今後の取り組みについて伺う
2	件名 生活困窮者自立支援法施行後の対応について	
	(1)	生活保護に至る前に自立支援策の強化を図るための取り組みは
	(2)	全世帯に制度の内容を周知する必要があると思うがその対応は

2 大石 健司 議員

1	件名 東京五輪サーフィン競技の開催地・合宿地招致に象徴されるスポーツやレジャーによる地域活性化策の現状について	
	(1)	東京五輪追加種目サーフィンの開催地が「正式決定する」12月を迎えた。9月以降、市と招致委員会が行った具体的な活動は。
	(2)	「サーフィンをはじめとするビーチスポーツやマリンレジャーなどの魅力発信とともに、海岸背後地を活用した空間の創出などの新たな観光まちづくり」プロジェクトの現状と、その根幹をなす『ウェーブプール構想』の進捗状況は。
	(3)	『市内社会体育施設グラウンドの芝生化』についての当局の感想を伺う。各地のグラウンドや体育館に観客席を設置、改修、増設する考えは今後もないのか。 また、民間団体やNPO組織によるスポーツイベント等の企画や運営に市が支援や協力する際の基準は。
2	件名 「勝間田川のいのちの森」の現状と今後の活用について	
	(1)	2014年3月に勝間田川左岸河口の盛土に市民や県内外のボランティアが14種類3000本の雑木の苗木を植えた。 約3年が経過した今では「防潮堤」とも「防災林」とも「津波避難地（いのち山）」とも「海浜公園」とも言えない密林の管理運営方針、そして今後の用途について伺う。

3 名波 喜久 議員

1	件名	相良公民館閉鎖による今後の対応策と市の公民館のあり方を問う
	(1)	当施設の耐震不足を把握していた中で、現在までの対策無しは廃館ありきの計画であったのか。
	(2)	老朽化しつつある公民館等の今後の維持管理対策は。
	(3)	利用者の継続的な活動場所の調達及び公民館活動への対応は。

4 村田 博英 議員

1	件名	榛原総合病院の現状の問題点と今後の課題について伺う
	(1)	医師不足の現状について改善されているのか。また今後の見通しは。
	(2)	県広域医療体制における榛原総合病院の位置付けと将来の方向を伺う。
2	件名	MIJBC の進捗状況を伺う
	(1)	MIJBC センターの設置状況は
	(2)	事業計画はどのようになっているか
	(3)	経済効果はどのように見積もっているか

5 大石 和央 議員

1	件名	鳥獣被害対策について
	(1)	市内の鳥獣被害状況と被害金額はどのくらいか。また鳥獣の現生息数はどのように把握しているのか。
	(2)	鳥獣被害防止計画の評価と見直しについて伺う。また鳥獣被害対策協議会の活動の現状と今後の取組についてどのようなものか。さらに、電気柵設置補助制度等を新たに新設することについて。
	(3)	捕獲鳥獣の解体・処分はどのようになされているのか。問題はないのか。また鳥獣被害防止について全市民が関心を持ってもらうためにも、ジビエの普及を目指した取り組みを求める。

	件名 野良猫対策について
2	<p>野良猫対策における行政の役割について</p> <p>(1) (1) 苦情・相談、解決の現状はどのようになっているか。 (2) 動物愛護管理行政の業務において市の果たす役割はないか。</p>
	<p>住民のための地域猫活動として</p> <p>(2) (1) 地域猫活動についてどのように考えるか。 (2) 野良猫被害軽減と住民トラブルを防止するためには、ガイドラインを定める必要はないか。</p>

平成 28 年 12 月 16 日 (金)

6 植田 博巳 議員

	件名 公共施設マネジメント基本計画の進め方について
1	<p>市民生活の根幹をなす公共施設マネジメント基本計画（案）が本年 10 月に示された。</p> <p>(1) この計画の進め方について「牧之原市政への市民参加に関する条例」の規定による市民参加手続きはどの方法により実施するのか。また、参加手続の実施の時期は全庁的取り組みのどの時点なのか伺う。</p>
	<p>中間目標 20 年後における総床面積の約 20%削減としているが既に 4 年間の具体的取り組みが示されている。これらは効果的・効率的な施設運営や長寿命化の取り組み結果により計画されたものか、目標削減率約 20%を前提として計画したものなのか伺う。</p>
	<p>建物以外のインフラ系施設、道路・河川・橋梁・農業用施設・水道施設は多大な費用と長期的な更新期間が必要であり、これらの公共施設マネジメント計画は生活基盤を維持するため必要不可欠である。</p> <p>(3) このうち水道施設は平成 29 年度に公共施設マネジメント基本計画を策定するとしているが、他のインフラ施設は何時策定するのか。また、策定の工程計画を伺う。</p>

7 藤野 守 議員

	件名 安定ヨウ素剤の市内全域への配布について
1	<p>(1) 牧之原市の P A Z 圏内対象者の内、配布率 70%との報告があった。他の原発立地市町及びその周辺関係地域の配布率はどれほどか伺う。</p>
	<p>県に要望した市内全域への事前配布の具体化へ向け、推進の計画はあるか。また、圏内の事業所等他市町からの勤務や通学により圏内にある人への配布についての対応。さらに 3 歳未満の子どもへの配布について伺う。</p>
	<p>(3) U P Z 圏内の小中学校、公民館等配備など市内各所に安定ヨウ素剤が配備されているが、原発事故時はどのように配布対応するか伺う。</p>

2	件名 坂口谷川の水門の設置、細江寄子町内会地区のいのち山等の避難設備建設について	
	(1)	県の河川整備計画原案策定後、坂口谷川水門の建設計画の具体化はされているか伺う。
	(2)	細江寄子地区にも津波タワー・いのち山の設置が必要と考えるが、今後建設に向け、推進する考えがあるか伺う。

8 平口 朋彦 議員

1	件名 15キロメートルにおよぶ牧之原市の海岸、その将来像は	
	(1)	砂浜の浸食率、原因と対応は。「サンドバイパスシステム」誘致の要請について。
	(2)	L1 防潮堤建設とビーチリノベーションの整合性は。県、住民との協議について。
	(3)	賑わいを取り戻すブランド戦略について。